

平成 29年 8月 10日

瀬戸内市議会議長

原野 健一 様

瀬戸内市議会議員

厚東 晃央

### 政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

期間	平成 29年 8月 3日
研修会名	地方議員セミナー2017 保育の充実と地方行政
開催場所	全国理容生活衛生同業組合連合会ビル 9階会議室 (東京都渋谷区代々木1-36-4)
研修目的・内容	講義1・保育にかかわる国・自治体行政の動向 講師・逆井直紀氏(保育研究所常務理事) 逆井氏は、子ども・子育て支援新制度の概要や保育をめぐる状況を示し、解決すべき重要課題とその対応などについて講演 ・介護保険の利用の仕組みを保育分野へ導入するという基本的性格を持つ制度であるということ ・24条以降に市町村責任による保育所での保育の責任が示されていること ・公的責任、条件の異なる保育供給方式が並立で行われていること ・直接契約・給付制度が導入されていること ・共働き世帯が増加し、子どもの数は減少しているのに保育需要は伸び続ける現状と今後のこと ・2017年度までに待機児童ゼロをめざし取り組んだが達成できず、実質「子育てあんしんプラン」で先延ばしされたこと ・自治体対応で「事業計画の見直し」「小規模保育等の整備による



課題」「量拡大と質確保の両立」は難しい現状のこと

- ・今後の対策として「公立保育所の活用も含め、あらゆる政策資源の投入をしていかなければいけない」ということ
- ・東京都北区の公立保育所を新設した事例の報告
- ・保育士の確保や保育料の負担軽減が必要となること

講義 2・1 ・自治体保育行政に関わる状況調査について

講師・勝連千賀子氏（保育研究所）

勝連氏は、「保育の質向上や保育士確保に関する施策の内容と、子ども・子育て支援新制度における事業計画見直しの動向を把握する」という目的で行われた調査の報告

- ・公立施設（保育所、幼稚園、認定こども園等）の職員の時給や賞与、臨時保育士の状況
- ・保育士等の確保（処遇改善）策の自治体の実施状況
- ・子ども・子育て支援新制度における事業計画の見直しの状況

講義 2・2 ・待機児童解消と保育士の処遇改善問題

講師・村山祐一氏（元帝京大学教授）

村山氏は、社会をとりまく保育の状況や待機児童の定義や解消への課題についての講演

- ・各新聞の社説で取り上げられる保育問題
- ・待機児童の定義の変遷や現状
- ・保育を必要とする家庭状況の変化
- ・子どもの人口が減少しているが、待機児童問題がおこる現状
- ・待機児童を正確に把握する必要性
- ・保育士の処遇調査の報告（東京・奈良を例に挙げながら）
- ・公定価格（保育単価）と賃金（最低賃金）の問題
- ・保育士処遇の改善課題の4つの提案
  - 1、幼稚園同様に1日の仕事に保育計画・準備・まとめ・会議・研修等を制度的・財政的に保障する
  - 2、安定した園や自己研修時間の確保と保育士にワークライフバランスの保障を
  - 3、開所・閉所の制度導入
  - 4、新制度と保育士のキャリアパスの構築

講義 3・1 ・事業計画見直しの課題

講師・若林俊郎氏（保育研究所）

若林氏は、子ども・子育て支援事業計画見直しをする、または見直しをしたものについての課題

- ・子ども・子育て支援事業計画の策定を自治体に義務付けていること
- ・事業計画の「量の見込み」と保育需要の実態の調査と報告
- ・内閣府が示した事業計画見直し手引きの内容
- ・事業計画見直しの事例（岡山市、札幌市を例に挙げながら）
- ・事業計画の見直し・再検討の視点

講義 3・2 ・待機児童解消に向けた施設の増設

公共施設の再編、事業計画見直しへの対応

講師・杉山隆一氏（元仏教大学教授）

杉山氏は、待機児童解消のめどがたっていない状況と公立施設の再編の状況、事業計画の見直しに関わる講演

- ・「見直し」の基本要因—事業計画で待機児童が解消できない要因
- ・量の見込み算出の手引きのポイント
- ・量の見込み確保体制の原則
- ・公立保育施設の再編・再配置と認定こども園化の現状
- ・公共施設の認定こども園化と問題点
- ・認定こども園への統廃合と再編の本質と市民の願い
  - 1、認定こども園で待機児童は解消するのか
  - 2、当事者抜きで勝手に認定こども園にしないで  
(阪南市を例に挙げながら)
  - 3、市民は認定こども園ではなく認可保育所と公立幼稚園の充実を求めている
- ・公立保育園の財源の現状

講義 4 ・学童保育（放課後児童クラブ）の状況と課題

講師・木田安男氏（全国学童保育連絡協議会会長）

木田氏は、学童保育の状況、制度の変遷、地域における多様性と今後の課題を講演

- ・学童保育の実態と「新制度」実施後の状況
- ・学童保育の法制化（1997年）から20年、その意義と問題点
- ・新制度の主な内容
- ・新制度で強調される目的と役割
- ・「放課後子どもプラン」と今年度の学童保育予算

所感	<p>保育・学童保育の現状と課題が整理できた。</p> <p>全国的には待機児童が問題となっているが、瀬戸内市では待機児童はない。しかし、恒常的な保育士不足の解消は喫緊の課題である。保育士不足は、臨時雇用の保育士で対応するのは限界がある。公的責任で正規保育士を雇用することが必要と考える。</p> <p>研修を終えて、大きく動いている保育情勢に対して、常にアンテナを張り、こどもを中心とした保育環境となるようにしていかなければいけないと思った。</p>
----	--